

真の豊かさを求め 共生と協働をテーマにまちづくり



鏡石町長
木賊政雄

町民のみならず、新年明けましておめでとうございます。平成17年の輝かしい新年をご家族お揃いで迎えのことと心からお祝い申し上げます。アテネオリンピック開催の年となった昨年の夏は、記録的な猛暑と連続して上陸する台風などの異常気象により自然災害の恐ろしさを実感した一年でした。特に、昨年10月23日に隣県である新潟県中越地方で発生した地震では、尊い人命が数多く失われたほか、長年培ってこられた郷土が壊滅的な被害を受けられ、今なお避難所、仮設住宅に住まわれておられることに対し、心から御見舞と一日も早い復興を願うものであります。さて、本町は明治以来一度の合併もなく恵まれた環境と優れた立地条件、そして、先を見据えた優れた先人のご努力により、今日まで目覚ましい発展を遂げて参りました。しかしながら、今、自治体は戦後最大の極めて厳しい環境に置かれており、本町も例外ではありません。こうした逆風の中、英知を結集し町民の真の豊かさを求め、さらなる町勢の伸展を図って行くことが、私に課せられた大きな責務であると考えており、本町においては、現行の市町村合併特例法の期限にこだわらず、町の置かれている地域特性と優位性を活かしたまちづくりを推進することとして、新たな財源確保に向けた検討をはじめ、行財政改革の推進に取り組んでいるところであります。

今後は、これまでの慣行にとらわれず、大胆な発想と創意工夫により、全町民の「知恵と行動」を集結し、「共生と協働」をテーマにまちづくりを進めていきたいと考えております。国の三位一体改革が未だに不透明な中、新年度の予算編成はこれまで以上に厳しい内容となることが予想されますが、第4次総合計画の基本テーマである「共に生き 共につくる 牧場の朝のまち 鏡石」の実現に向けて鋭意取り組んで参る所存であります。特に、今年度は、桜岡地区内に大型ショッピングセンターの出店が予定されており、雇用の場の確保と、これらを核とした地域活性化を図るとともに、「電子自治体推進事業」による電子申請等の質の高い住民サービスの提供、自治体個性化に対応した「フローラのまちづくり事業」、「子育て・少子化に対応した「幼児教育・児童福祉事業」の充実など、生活に直面する諸課題に取り組む、「やすらぎ」と「うるおい」のあるまちづくりを進めて参りたいと考えております。

緩やかに持ち直し傾向の続く日本の経済情勢の中ではありますが、積極的に行財政改革を推進し、町民のみならず一人ひとりが「ほんとうの幸せ」を実感できるまちづくりに向けて、より一層努力して参る所存でありますので、引き続きみなさまの温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。終わりに、町民みなさまのこの一年のご健康とご多幸をお祈り申し上げ新年のごあいさついたします。

共に生き 共につくる まちづくり



鏡石町議会議長
菊地栄助

新年明けましておめでとうございます。町民のみならずには、お健やかに初春をお迎えのことと謹んでお喜び申し上げます。また、平素より議会運営に対しまして、多大なご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、昨年の夏は、異常なほど記録的な猛暑でありました。また、台風の多い年でもありましたが、幸いにも当地方への影響は少なく、安堵しているところでもあります。

10月下旬には、新潟県中越地方を震源とする地震が発生し、建物は崩壊、電気・水道等のライフラインが破壊され、また多くの尊い命が失われました。亡くなられたみなさまのご冥福をお祈りするとともに、被災者のみなさまが一日も早く復興されることを心から願うものであります。さて、昨年の3月定例町議会で、市町村合併に関する調査特別委員会の調査結果が報告され、「市町村合併に関しては、当分このまま、合併せず自主で進める」と結論が出されました。

- その主な理由としては、
- ①市町村合併は、町づくり、地域づくり等、将来に向けた発展を目指しての合併を考えるべきであるが、今の合併は、財政論議が先行され、本来の目的から、かけ離れているように考えられる。
 - ②生活環境、公共施設、道路網、下水道等都市機能の整備率等が他市町村より高く、今後は財政負担が少なくなると考えられる。
 - ③町の面積も小さく、非常に効率的な行財政運営も望めるものであり、町は、行政組織の見直し等、自立に向けた行財政の改革が進められている。以上3点であります。

現在、国においては、三位一体の改革が進められ、地方行財政は厳しい状況になっております。三位一体改革が、真の地方分権の確立につながる改革であることを、全国の自治体が、国へ強く要望しているところであります。議会としましては、この厳しい状況の中で、町執行とともに「共に生き 共につくる 牧場の朝のまち 鏡石」の実現のため、活力ある、明るく住み良い町づくりのために、努力してまいる所存であります。結びにこの一年がみなさまにとって、実り多い年になりますとともに、幸せ多い年でありますよう心からご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。